

地球温暖化防止に関するアンケート調査結果

【対 象】 300社
 【回 答】 119社(紙101社、web18社) 回収率39.6%
 【調査方法】 郵送、web方式による
 【調査期間】 2022年9月16日(金)～10月7日(金)

(調査結果の表記について)

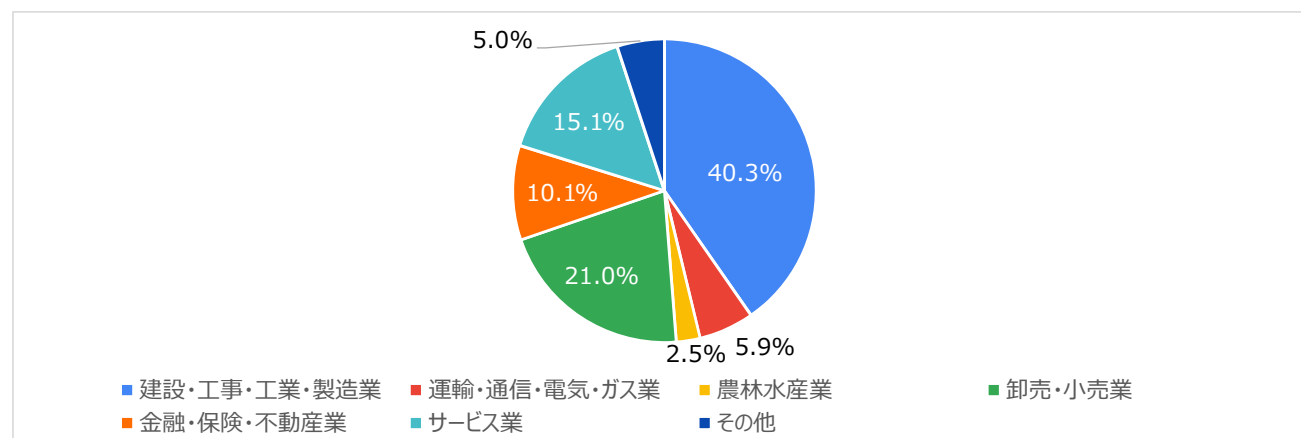
- ①調査結果の回答比率はその設問の回答者数(無回答は除く)を母数として百分率(%)で表示しています。
 ②回答比率(割合)は、小数点第2位を四捨五入して算出し、百分率(%)で表記しています。このため、合計が100%にならない場合があります。

1. 貴事業者について

問1. 貴社の業種について、あてはまる番号を1つ選んでください。

・業種については、建設・工事・工業・製造業関連が約4割と、最も多かった。
 ・その他は、卸売・小売業、サービス業、記入・保険・不動産業の順となった。

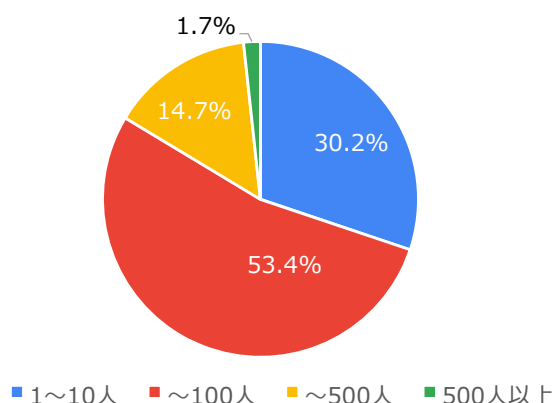
項目(単一選択)		回答数	割合
①	建設・工事・工業・製造業	48	40.3%
②	運輸・通信・電気・ガス業	7	5.9%
③	農林水産業	3	2.5%
④	卸売・小売業	25	21.0%
⑤	金融・保険・不動産業	12	10.1%
⑥	サービス業	18	15.1%
⑦	その他	6	5.0%
回答者総数		119	100.0%



問2. 丸亀市内の貴事業所にお勤めの従業員数(パートなども含む)を記入してください。

・事業所の従業員数については、11人～100人の事業所が最も多く、次に10人以下の事業所が多い結果となった。

従業員数		回答数	割合
①	1～10人	35	30.2%
②	～100人	62	53.4%
③	～500人	17	14.7%
④	500人以上	2	1.7%
－	無回答	3	－
回答者総数		116	100.0%

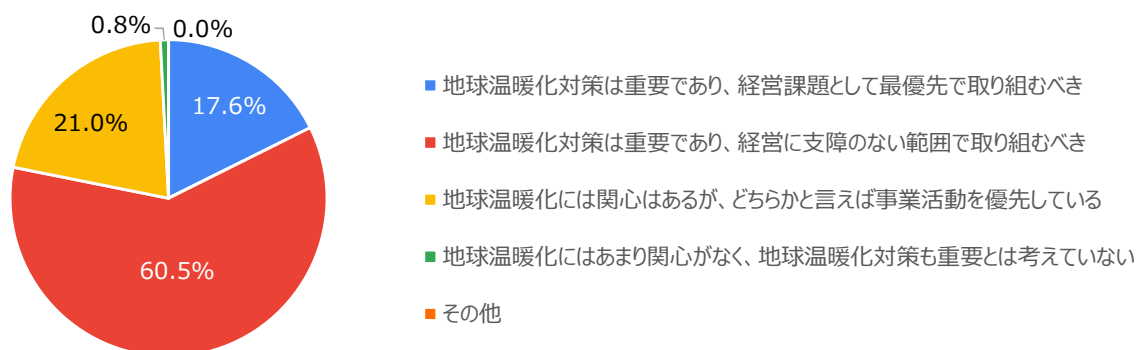


2. 地球温暖化について

問3. 貴社では、地球温暖化防止の取組をどのように位置づけていますか。1つ選んでください。

・地球温暖化防止の取組については、【地球温暖化対策は重要であり、経営に支障のない範囲で取り組むべき】との回答が60.5%となった。
 ・次に、【地球温暖化には関心はあるが、どちらかと言えば事業活動を優先している】との回答が21%、【地球温暖化対策は重要であり、経営課題として最優先で取り組むべき】との回答が17.6%となった。

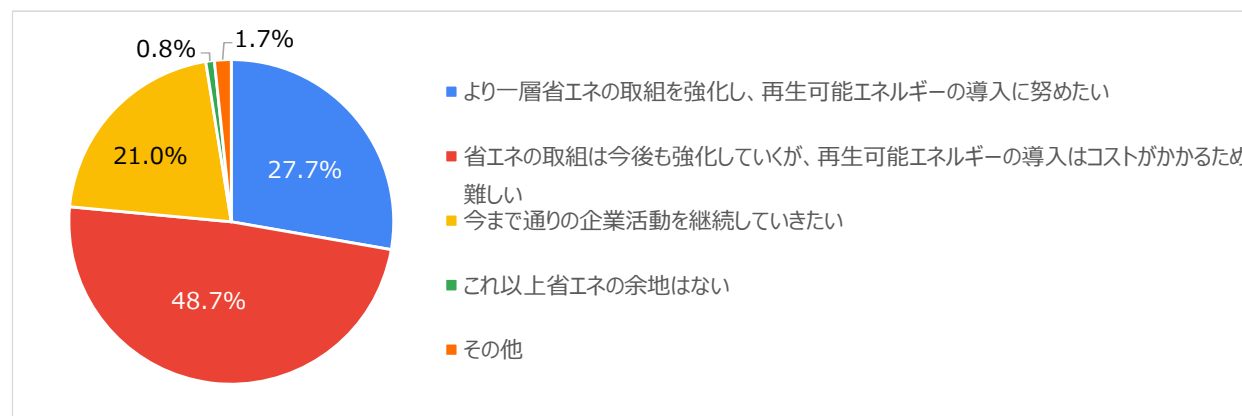
項目(単一選択)		回答数	割合
①	地球温暖化対策は重要であり、経営課題として最優先で取り組むべき	21	17.6%
②	地球温暖化対策は重要であり、経営に支障のない範囲で取り組むべき	72	60.5%
③	地球温暖化には関心はあるが、どちらかと言えば事業活動を優先している	25	21.0%
④	地球温暖化にはあまり関心がなく、地球温暖化対策も重要とは考えていない	1	0.8%
⑤	その他	0	0.0%
回答者総数		119	100.0%



問4. 地球温暖化防止のために実施する企業活動について、貴社の考えに最も近いものを1つ選んでください。

・地球温暖化防止のために実施する企業活動については、【省エネの取組は今後も強化していくが、再生可能エネルギーの導入はコストがかかるため難しい】との回答が約半数を占めた。
 ・次に、【より一層省エネの取組を強化し、再生可能エネルギーの導入に努めたい】との回答が多く(27.7%)、【今まで通りの企業活動を継続していきたい】はとの回答が21%となった。

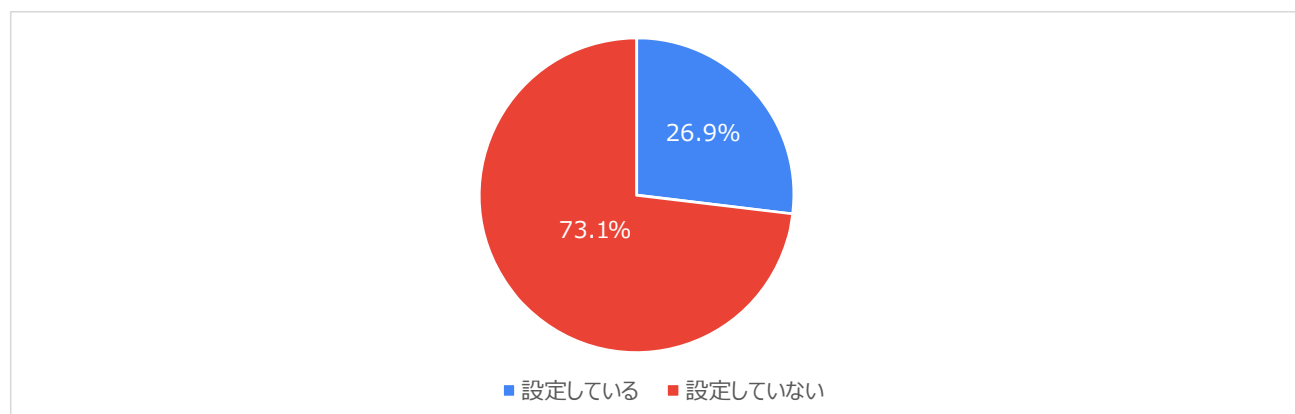
項目(単一選択)		回答数	割合
①	より一層省エネの取組を強化し、再生可能エネルギーの導入に努めたい	33	27.7%
②	省エネの取組は今後も強化していくが、再生可能エネルギーの導入はコストがかかるため難しい	58	48.7%
③	今まで通りの企業活動を継続していきたい	25	21.0%
④	これ以上省エネの余地はない	1	0.8%
⑤	その他	2	1.7%
回答者総数		119	100.0%



問5. 貴社では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。1つ選んでください。

・温室効果ガス排出量の削減に向けて、【削減目標や方針を設定していない】との回答が73.1%と多く、【設定している】との回答は26.9%であった。

項目(単一選択)		回答数	割合
①	設定している	32	26.9%
②	設定していない	87	73.1%
回答者総数		119	100.0%



問5-2. 問5で、【設定している】を選んだ方は、削減目標の具体をご記入ください。

・削減目標の具体については、以下参照

2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする。

現状は照明のLED化のみ

使っていないところの電気を消す。電気代(使用料)5%削減

前年比ー

対前年2%

社用車の燃費の記録と軽減

省エネ対策、太陽光発電

2024年度までに2013年度比で30%以上削減

使用していない電気を消す

2030年までCO2削減貢献量30万t

HV車を販売しています。

2050年の排出量実質ゼロを目指す。

電気使用量、ガソリン使用量前年比-1%

2013年比CO2を30%削減

2030年度までに2013年度比50%削減、2050年までにカーボンニュートラルし実現

2030年までにサステナブル素材使用100%

前年度二酸化炭素削減

2016年度実績比10.2%削減

廃棄0

産業廃棄物の排出 前年度比10%削減

2029年度:2013年度比38%削減

長期目標では、2030年度までにCO250%削減(2013年度比)、中期目標では、2024年度までにCO230%以上削減(2013年度比)

省燃費運転実施率100%

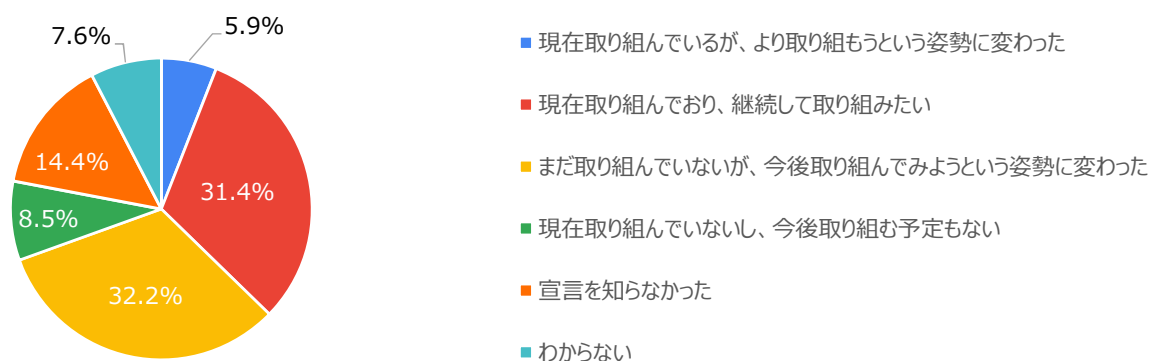
30%削減

3. カーボンニュートラルについて

問6. 丸亀市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指し2021(令和3)年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。この宣言により、貴社において地球温暖化対策への取組姿勢はどのように変わりましたか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

・地球温暖化対策への取組姿勢については、【まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった】が32.2%と最も多く、次に【現在取り組んでおり、継続して取り組みたい】が31.4%となった。
・【現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない】、【宣言を知らなかった】との回答は合計22.9%となった。

項目(単一選択)		回答数	割合
①	現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった	7	5.9%
②	現在取り組んでおり、継続して取り組みたい	37	31.4%
③	まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった	38	32.2%
④	現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない	10	8.5%
⑤	宣言を知らなかった	17	14.4%
⑥	わからない	9	7.6%
—	無回答	1	—
回答者総数		118	100.0%

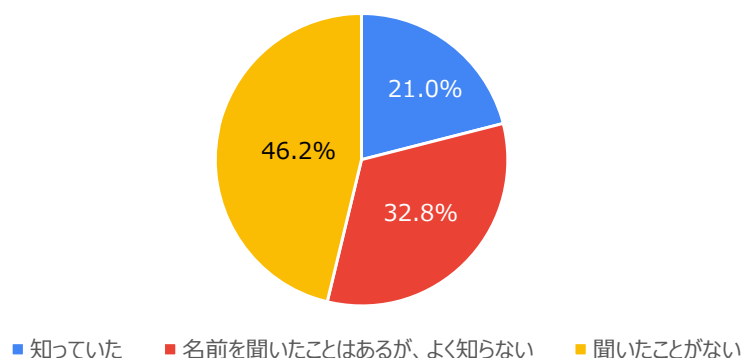


4. 貴事業者における地球温暖化対策について

問7. 貴社は、「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉をご存知でしたか。1つ選んでください。

・「COOL CHOICE(クールチョイス)」という言葉について、【聞いたことがない】との回答が46.2%で最も多く、次に【名前を聞いたことはあるが、よく知らない】との回答が32.8%となった。

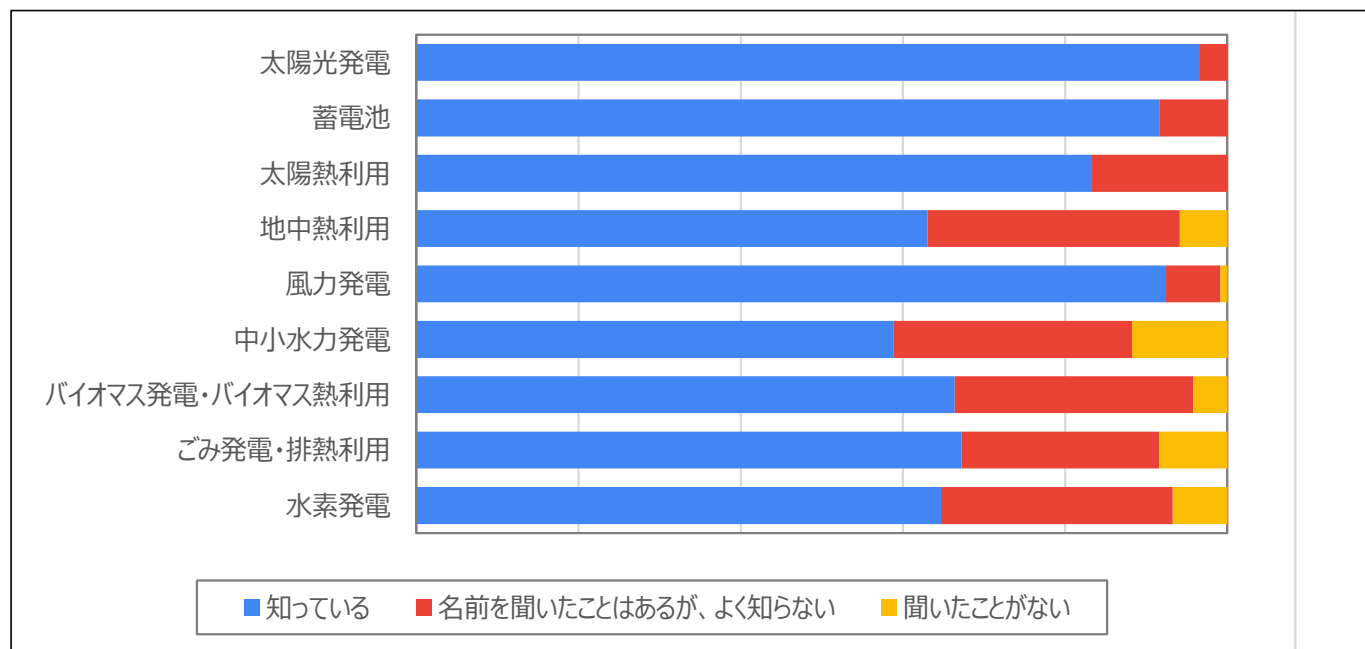
項目(単一選択)		回答数	割合
①	知っていた	25	21.0%
②	名前を聞いたことはあるが、よく知らない	39	32.8%
③	聞いたことがない	55	46.2%
回答者総数		119	100.0%



問8. 太陽光発電などは「再生可能エネルギー」と呼ばれており最近普及しています。貴社は次の「再生可能エネルギー等」について、どの程度知っていますか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んでください。

・それぞれの「再生可能エネルギー等」について、【知っている】との回答が60%以上となった。
 ・太陽光・太陽熱発電、蓄電池、風力発電以外については、【名前を聞いたことはあるが、よく知らない】、【聞いたことがない】の回答が多くを占める結果となった。

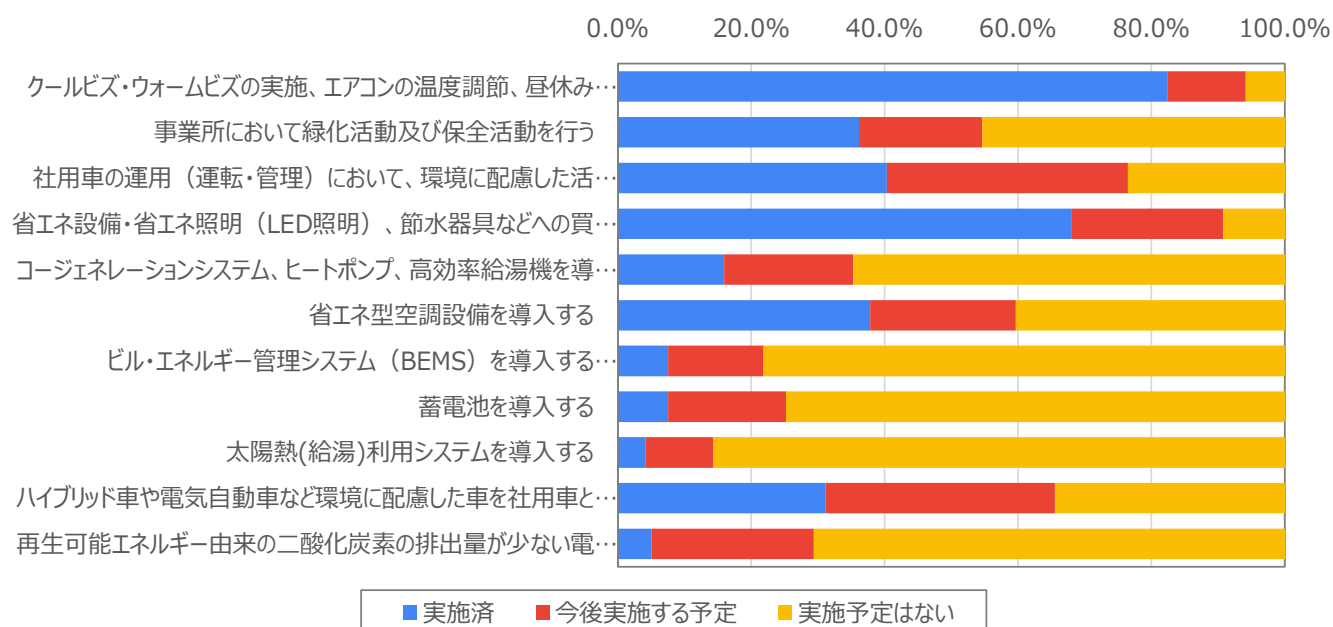
再生可能エネルギー等の種類	知っている	名前を聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことがない	計	知っている	名前を聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことがない	計
太陽光発電	115	4	0	119	96.6%	3.4%	0.0%	100.0%
蓄電池	109	10	0	119	91.6%	8.4%	0.0%	100.0%
太陽熱利用	99	20	0	119	83.2%	16.8%	0.0%	100.0%
地中熱利用	75	37	7	119	63.0%	31.1%	5.9%	100.0%
風力発電	110	8	1	119	92.4%	6.7%	0.8%	100.0%
中小水力発電	70	35	14	119	58.8%	29.4%	11.8%	100.0%
バイオマス発電・バイオマス熱利用	79	35	5	119	66.4%	29.4%	4.2%	100.0%
ごみ発電・排熱利用	80	29	10	119	67.2%	24.4%	8.4%	100.0%
水素発電	77	34	8	119	64.7%	28.6%	6.7%	100.0%



問9. 貴社における現在の地球温暖化防止対策への実施状況と実施意向について、下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んでください。

・実施済みとの回答が多かったのは、【クールビズ・ウォームビズの実施等】、【省エネ設備・照明への買い換え】であった。
 ・実施予定はないとの回答が多かったのは、【コージェネレーションシステム等の導入】、【ビル・エネルギー管理システムの導入】、【蓄電池の導入】、【太陽熱利用システムの導入】、【再生可能エネルギー由来の電気購入】であった。

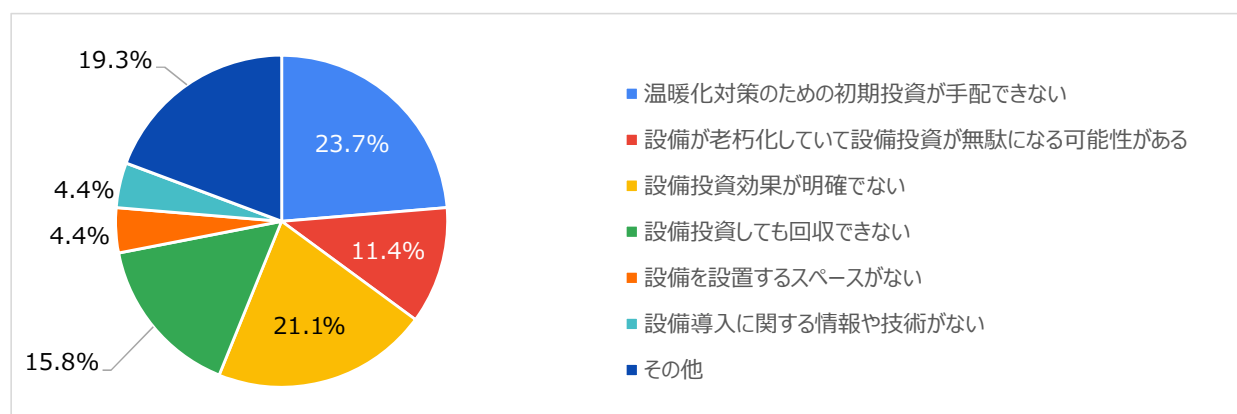
地球温暖化対策への実施状況		回答数				割合			
		実施済	今後実施する予定	実施予定はない	計	実施済	今後実施する予定	実施予定はない	計
①	クールビズ・ウォームビズの実施、エアコンの温度調節、昼休みの消灯など、できることから社員による対策を行う	98	14	7	119	82.4%	11.8%	5.9%	100.0%
②	事業所において緑化活動及び保全活動を行う	43	22	54	119	36.1%	18.5%	45.4%	100.0%
③	社用車の運用（運転・管理）において、環境に配慮した活動を行う	48	43	28	119	40.3%	36.1%	23.5%	100.0%
④	省エネ設備・省エネ照明（LED照明）、節水器具などへの買い換えを行う	81	27	11	119	68.1%	22.7%	9.2%	100.0%
⑤	コージェネレーションシステム、ヒートポンプ、高効率給湯機を導入する	19	23	77	119	16.0%	19.3%	64.7%	100.0%
⑥	省エネ型空調設備を導入する	45	26	48	119	37.8%	21.8%	40.3%	100.0%
⑦	ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を導入する ※エネルギーの見える化	9	17	93	119	7.6%	14.3%	78.2%	100.0%
⑧	蓄電池を導入する	9	21	89	119	7.6%	17.6%	74.8%	100.0%
⑨	太陽熱（給湯）利用システムを導入する	5	12	102	119	4.2%	10.1%	85.7%	100.0%
⑩	ハイブリッド車や電気自動車など環境に配慮した車を社用車として購入する	37	41	41	119	31.1%	34.5%	34.5%	100.0%
⑪	再生可能エネルギー由来の二酸化炭素の排出量が少ない電気を購入している	6	29	84	119	5.0%	24.4%	70.6%	100.0%
⑫	その他	3	2	1	6	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%



問10. 問9にて、【実施予定はない】を選んだ方にお尋ねします。貴社が温暖化対策に取り組むうえで課題となっている点
はありますか。最もあてはまる項目を1つ選んでください。

・温暖化対策に取り組むうえで課題となっている点については、多い順に、【温暖化対策のための初期投資が手配できない
(23.7%)】、【設備投資効果が明確でない(21.1%)】、【設備投資しても回収できない(15.8%)】であった。

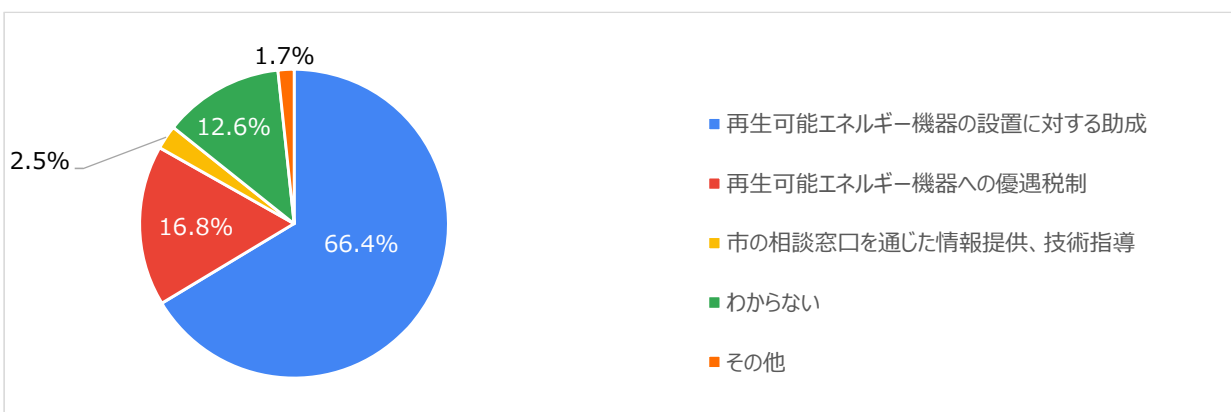
項目(単一選択)		回答数	割合
①	温暖化対策のための初期投資が手配できない	27	23.7%
②	設備が老朽化していて設備投資が無駄になる可能性がある	13	11.4%
③	設備投資効果が明確でない	24	21.1%
④	設備投資しても回収できない	18	15.8%
⑤	設備を設置するスペースがない	5	4.4%
⑥	設備導入に関する情報や技術がない	5	4.4%
⑦	その他	22	19.3%
回答者総数		114	100.0%



問11. 貴社において、再生可能エネルギー等の導入が広く進められるために、どんなことが必要ですか。1つ選んでくだ
さい。

・【再生可能エネルギー機器の設置に対する助成】が66.4%と最も多く、次いで【再生可能エネルギー機器への優遇税制】が
16.8%、【わからない】が12.6%となった。

項目(単一選択)		回答数	割合
①	再生可能エネルギー機器の設置に対する助成	79	66.4%
②	再生可能エネルギー機器への優遇税制	20	16.8%
③	市の相談窓口を通じた情報提供、技術指導	3	2.5%
④	わからない	15	12.6%
⑤	その他	2	1.7%
回答者総数		119	100.0%

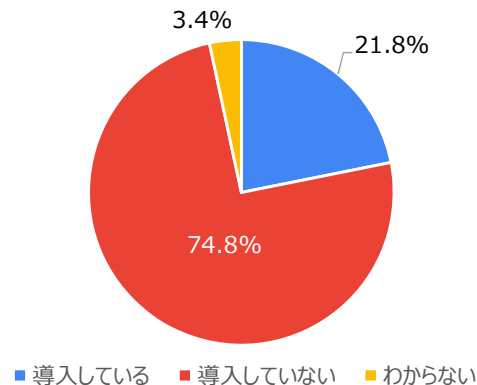


5. 丸亀市における地球温暖化対策について

問12. 丸亀市は、晴れの日が多く日照条件に恵まれていることから、太陽光発電の設置に適していると考えられますが、貴社は、太陽光発電システムを導入していますか。1つ選んでください。

・【導入している】が21.8%に対して、【導入していない】が74.8%、【わからない】が3.4%であった。

項目(単一選択)		回答数	割合
①	導入している	26	21.8%
②	導入していない	89	74.8%
③	わからない	4	3.4%
回答者総数		119	100.0%



問13. 問12にて、【2. 導入していない】を選んだ方にお尋ねします。太陽光発電システムを導入していない理由は何ですか。1つ選んでください。

・太陽光発電システムを導入していない理由については、【導入費用が高い】が55.1%と半数以上を占め、次いで【設置場所がない】が22.5%、【環境面での導入効果が不明】が4.5%という結果となった。
・その他については、別紙参照

項目(単一選択)		回答数	割合
①	導入費用が高い	49	55.1%
②	設置場所がない	20	22.5%
③	環境面での導入効果が不明	4	4.5%
④	施工事業者の選び方がわからない	2	2.2%
⑤	太陽光パネルの反射光による近隣住民とのトラブルが心配	0	0.0%
⑥	太陽光発電システムなど、再生可能エネルギーに興味がない	1	1.1%
⑦	その他	13	14.6%
回答者総数		89	84.3%

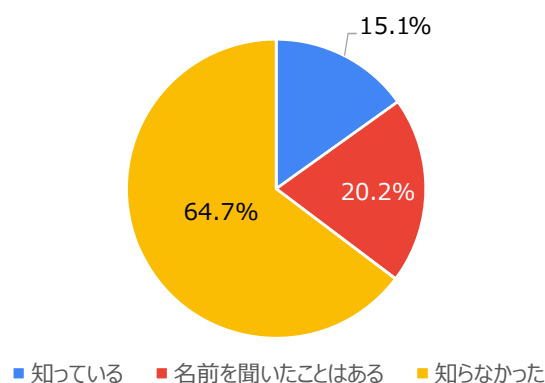


問14. 丸亀市は、省エネや太陽光発電システムの導入を推進しています。国はさらに、環境に配慮したZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の推進をしています。

貴社は、「ZEB」を知っていましたか。1つ選んでください。

・「ZEB」については、【知らなかった】が64.7%と多数を占めた。
・【名前を聞いたことはある】は20.2%、【知っている】は15.1%であった。

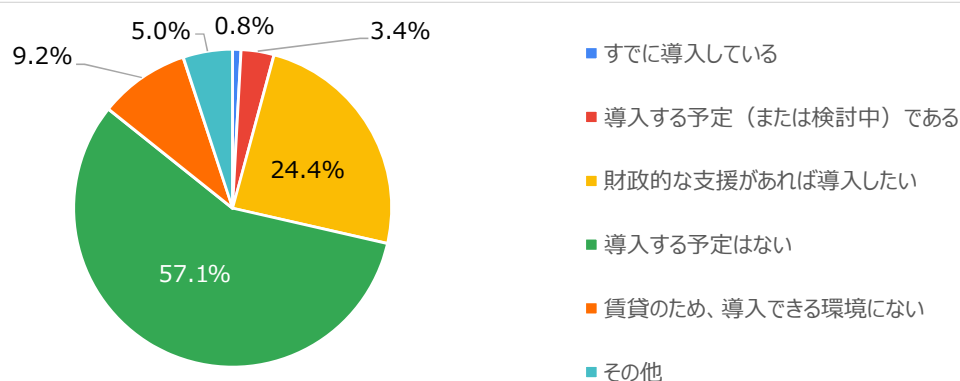
項目(単一選択)		回答数	割合
①	知っている	18	15.1%
②	名前を聞いたことはある	24	20.2%
③	知らなかった	77	64.7%
回答者総数		119	100.0%



問15. 貴社は、ZEBの導入に対してどのようにお考えですか。1つ選んでください。

・ZEBの導入に対しては、【導入する予定はない】が57.1%と多数を占めた。
・【財政的な支援があれば導入したい】は24.4%、【賃貸のため、導入できる環境にない】が9.2%であった。

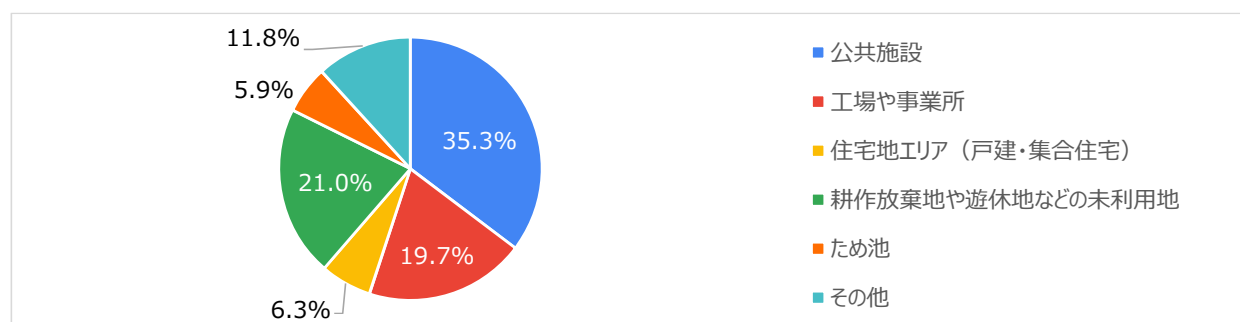
項目(単一選択)		回答数	割合
①	すでに導入している	1	0.8%
②	導入する予定(または検討中)である	4	3.4%
③	財政的な支援があれば導入したい	29	24.4%
④	導入する予定はない	68	57.1%
⑤	賃貸のため、導入できる環境にない	11	9.2%
⑥	その他	6	5.0%
回答者総数		119	100.0%



問16. 今後、丸亀市がゼロカーボンを推進するにあたり、丸亀市のどのような場所に優先的に太陽光発電設備の導入を進めるべきだと思いますか。2つ選んでください。

・優先的に太陽光発電設備の導入を進める場所としては、多い順に【公共施設(35.3%)】、【耕作放棄地や遊休地などの未利用地(21%)】、【工場や事業所(19.7%)】という結果となった。

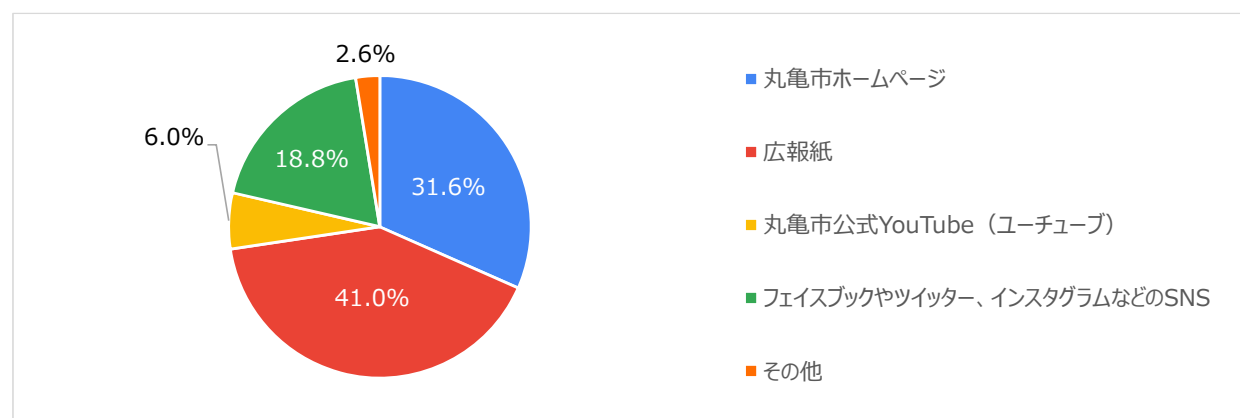
導入を進めるべき場所		回答数	割合
①	公共施設	84	35.3%
②	工場や事業所	47	19.7%
③	住宅地エリア(戸建・集合住宅)	15	6.3%
④	耕作放棄地や遊休地などの未利用地	50	21.0%
⑤	ため池	14	5.9%
⑥	その他	28	11.8%
回答合計		238	
回答者総数		119	



問17. 今後、丸亀市の地球温暖化対策に向けた取組等の情報を配信する場合、有効だと思われる媒体は何ですか。1つ選んでください。

・情報を配信する場合の有効な媒体としては、多い順に【広報紙(41%)】、【丸亀市ホームページ(31.6%)】、【フェイスブック等のSNS(18.8%)】、【丸亀市公式YouTube(ユーチューブ)(6%)】という結果となった。

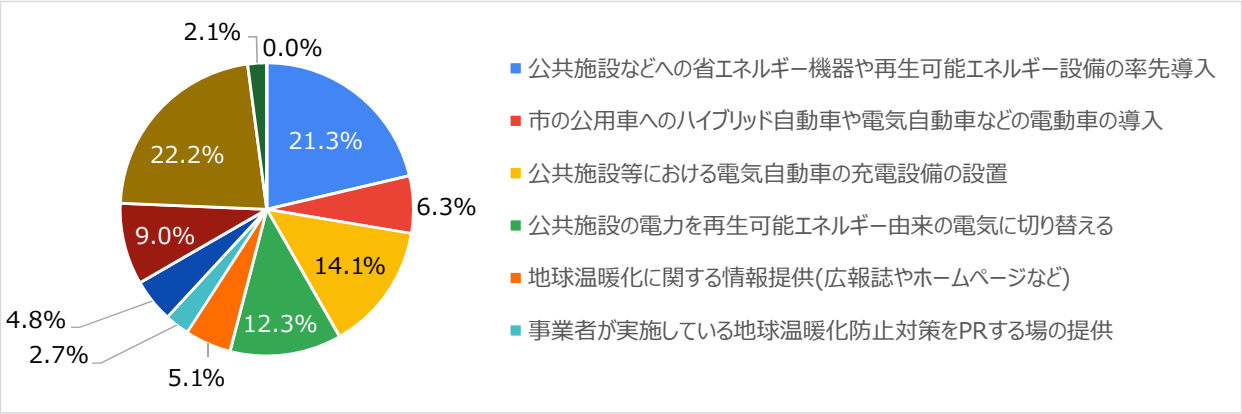
項目(単一選択)		回答数	割合
①	丸亀市ホームページ	37	31.6%
②	広報紙	48	41.0%
③	丸亀市公式YouTube(ユーチューブ)	7	6.0%
④	フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどのSNS	22	18.8%
⑤	その他	3	2.6%
—	無回答	2	—
回答者総数		117	100.0%



問18. これまでの設問内容をふまえ、今後、丸亀市に期待する対策はどのようなものですか。3つ選んでください。

・今後丸亀市に期待する対策としては、多い順に【省エネ、再エネ機器設備等への補助金(22.2%)】、【公共施設などへの省エネ・再エネ設備の率先導入(21.3%)】、【公共施設等における電気自動車の充電設備の設置(14.1%)】、【公共施設の電力を再生可能エネルギー由来の電気に切り替える(12.3%)】という結果となった。

項目(単一選択)		回答数	割合
①	公共施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備の率先導入	71	21.3%
②	市の公用車へのハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車の導入	21	6.3%
③	公共施設等における電気自動車の充電設備の設置	47	14.1%
④	公共施設の電力を再生可能エネルギー由来の電気に切り替える	41	12.3%
⑤	地球温暖化に関する情報提供(広報誌やホームページなど)	17	5.1%
⑥	事業者が実施している地球温暖化防止対策をPRする場の提供	9	2.7%
⑦	事業所間での情報交換や連携の場の提供	16	4.8%
⑧	市民・市民団体・事業者・行政の連携・協力による地球温暖化対策の推進の場の整備	30	9.0%
⑨	省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金	74	22.2%
⑩	特になし	7	2.1%
⑪	その他	0	0.0%
-	無回答	1	-
回答合計		333	
回答者総数		118	



問19. 最後にご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

・意見、要望、提案については、別紙参照

問19. 自由回答(※原文のまま。「特にありません。」「特になし」(合計3件)は削除済み

1	アンケート内容で、営業所では本社の方針やそれに携わる職員の知識等分からないことが多く回答に困惑いたしました。 実際の本社の方針が反映された回答になっていないので、今後アンケートを実施される場合は本社宛てにお願いしたい。
2	温暖化の原因がCO2とは思っていない。 地球規模の周期に思えてならない(個人としての意見)
3	地球温暖化防止に関しては、全人類が取り組むべき課題であると思う。我々のような小規模事業者がまず取り組めることは、節電による省エネや、省エネタイプのエアコン、照明器具への交換等、少ない費用で比較的效果が見込める取り組み程度しか現実実施できない。 国、県、市などの専門的な知識を有する方に、ほかの小規模事業者が上手に取り組んでいる実例＝モデル等を指導していただきたい。又、弊社においても蓄電池については検討しているが、まだ初期投資が高額なので実施には至っていない。だが、近い将来蓄電池は必ず導入したいと考えている。現在全量買取にて発電契約している自社太陽光の買取期限までには、是非取り組むつもりである。 これに対する助成金、補助金があれば有り難いが、事業者向けは規模も大きくなるため何とか企業は自助努力して設置し、民家については、太陽光システム＋蓄電池の補助額をUPし、一般普及を促進した方がよりゼロカーボンシティに近づけるのではないかと素人考えでは確信している。 事業所(大きな会社は意識が高いので我々のような小規模零細を中心として)や、一般の市民に事あるごとに丸亀市の目標については周知すべきでと考える。 (PS・市に買って車系用車両のエコ車両化は、できるところであるので推進したい。)
4	自然環境豊かで野鳥がいるため池に太陽光発電を設置しようという話と聞き、言語道断、自然環境を保全せず、ゼロカーボンはありません。 建物の屋根に太陽光を設置するのが一番良いと思う。 最近井戸も電動だけでなく手押し式にも出来るようにした。 災害があっても電気がしばらく使えなくても、トイレや洗濯物の水にはまかなえそうで、地域貢献になればと思う。
5	設備導入の補助金を出していただいたあと、その後のランニングコストについての支援も視野にしていたらと導入も積極的に検討できる。
6	当社は親会社の敷地内にて土地、建屋、設備業を賃借して事業活動を行っている会社につき自社独自の取組は限定的であり、親会社主体での方針、目標、活動となっている為、大掛かりな取組は困難な状態である。
7	事業所や市民にとって再生可能エネルギー設備の導入は考えているが、費用対効果を考えるので導入に躊躇してしまう。 財政的補助があればよい。
8	人口減少で、より効率的な地域社会の構築に向けて、思い切ったコンパクトシティの実現を進めて欲しい。
9	省エネルギー機器等を導入して、経費等が削減できればいいのですが、費用がかさみ、何をしているのか分からない状態ではなかなか推進できない様に思います。 何か企業にメリットがあり温暖化防止に役立つのであれば行いたいです。
10	売電が終わった太陽光発電設備の有効活用案として四電に安く売らず市が同じ値段が少し上乗せした値段で買い取れば市で有効に活用できるので新しく設備を作るより節約になる。
11	紙媒体のアンケートを廃止すればもっとゼロカーボンに近づくとおもいます。

その他回答

問1

【その他】

1	その他	2
2	医療業	1
3	福祉	1
4	学校・教育	1
5	社会福祉	1
		6

問4

【その他】

1	その他	1
2	自社だけでは難しい。	1
		2

問9

【その他】(他、内容未入力で「今後実施する予定」を選択…1件)

1	リフト電動化	1	実施済み
2	電動リフト導入	1	実施済み
3	井戸を利用している	1	実施済み
4	2030年まで温室効果ガス削減スコープ1.2	1	今後実施する予定
5	特に無し	1	(空欄)
		5	

問10

【その他】

1	その他	11
2	本社において、営業所ごとに順番を考えており、いつ何をするか営業所ではわからない。	1
3	自社だけでは行えない。	1
4	テナントビルであり、当事業所での導入は困難	1
5	9-2については、田舎だから。9-3住居版HEMSを設置だが効果は？9-9事業用にそれほど給湯の量が必要ないため。9-11については安定的に供給していただけるか否か不安。	1
6	事業が「農業」のため特に温暖化対策をしていない。	1
7	テナントなのでデベロッパー次第	1
8	温暖化対策についての明確な目標は未設定	1
9	本社が行うため不明	1
10	総勢4名の営業所で賃貸物件に入居、設備予算にも限りがある。	1
11	賃貸物件入居のため、自社判断のみで導入できない	1
12	人員不足	1
		22

問11

【その他】

1	その他	1
2	本社が行うため不明	1
		2

問13

【その他】

1	その他	2
2	本社で予定されていない。	1
3	自社の建物でないため出来ない。	1
4	自社だけでは決定できない	1
5	テナントの為	1
6	半導体不足でつけられなかった	1
7	建物老朽化でいつまで保つか？	1
8	建物の老朽化	1
9	導入後の問題が起きるのがいやです。	1
10	パネル等の破損、よごれ、危機の寿命の短さが気にかかる。	1
11	賃貸物件入居のため	1
12	今後導入する予定。	1

13

問15

【その他】

1	その他	4
2	方針未設定	1
3	分からない	1

6

問16

【その他】

1	その他	26
2	景観を損なわないところ	1
3	太陽光発電にこだわらなくてよいと思う。	1

28

問17

【その他】

1	その他	2
2	ロードサイン	1

3